

The Symposium & Exhibition of Visual Illusion World 2011: Bridge of Arts and Science

「錯視が活かされる世界：芸術と科学の架け橋」

共催：立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO)

三次元映像のフォーラム(3Dフォーラム)(兼第 95 回研究会)

~~~~~

日時：平成23年(2011年)3月12日[土]10:00~17:10

会場：立命館大学 創思館 IF カンファレンスルーム

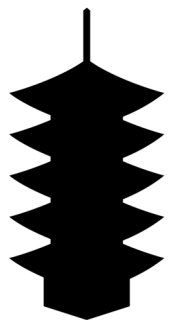
住所：〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

URL：<http://www.psy.ritsumeai.ac.jp/~akitaoka/R-GIROnews.html>

地図/アクセス：<http://www.psy.ritsumeai.ac.jp/~akitaoka/kic-campusmap2010.pdf> の[32]

連絡：三次元映像のフォーラム (hagura@hypre.ocn.ne.jp、090-6184-6161)

入場：無料 特典：先着順 100 名に超立体映像ホログラムを進呈。



反転図形五重塔

### **【シンポジウム：プログラム】**

10:00~ 受付開始

10:00~10:20 挨拶・講演「**錯視と3D**」北岡 明佳(立命館大学)／羽倉 弘之(3Dフォーラム)

〈午前の部〉座長(司会)：北岡 明佳 (立命館大学)

10:20~10:40 「**撮影方法による2D画像の見えの歪みと3D画像への期待**」

破田野(竹澤) 智美 (立命館大学)

10:40~11:00 「**絵画空間における坂道の見かけの縦断勾配について**

—絵画の提示高と側壁の効果— 對梨 成一 (立命館大学)

11:00~11:20 「**パナムの限界条件-奥行知覚の最少条件と奥行感を説明する**

4つの仮説」青谷 岳寛 (立命館大学)

11:20~11:40 「**周辺視野の奥行き・大きさ知覚に対する両眼視差の効果**」

安岡 晶子 (甲南女子大学)

11:40~12:00 「**立体映像観視時の調節・輻輳応答の静特性と動特性の比較**」

水科 晴樹 (ATR メディア情報科学研究所)

〈午後の部：招待講演〉座長(司会)：羽倉 弘之(3Dフォーラム 幹事/立命館大学客員研究員)

13:00~14:00 講演1「**半世紀の科学と芸術の旅で拾った多彩なイリュージョンの**

**回想記から**」坂根 巖夫 (IAMAS 名誉学長)

IAMAS=岐阜県立国際情報科学芸術大学大学院

14:00~15:00 講演2「**3D 世界と顔—それぞれ人はどう見ているのか?**」

原島 博 (東京大学 名誉教授)

15:00~15:10 休憩

15:10~16:10 講演3「**エッシャーマジックへの挑戦**」

杉原 厚吉 (明治大学 教授)

16:10~17:10 講演4「**立体知覚の不思議な働きから視覚のメカニズムを探る**」

佐藤 隆夫 (東京大学 教授)

17:30~ 懇親会 (諒友館食堂1F、無料)